

令和7年度 事業報告

1 概要

令和7年度の墨田区シルバー人材センター（以下「センター」という。）の運営は、社会経済活動の正常化に伴い、前年度に引き続き着実な回復と進展を遂げている。

本年度は、新たに策定した「第四期中期計画」の初年度として、各施策を着実に推進した結果、ほぼ計画どおり順調に事業が進捗した。特に、多様な就業形態への対応として、フリーランス法への適切な運用を定着させ、会員が安心して就業できる環境整備を一層加速させることができた。

また、事業実績においては、公共事業が昨年度比で3.7%の増、民間事業が5.4%の減、全体としては微増であり、堅調に推移している。

更に会員数は、増加基調を継続している。入会者数は207名、退会者数は191名であり、年度末の会員数は1,540名となり、前年度と比べて16名の増となった。令和元年度以降続いていた減少局面を脱し、会員拡大施策が着実な成果を上げている。

また、本年度はセンター運営の大きな転換点として、厚生労働省の方針に基づき、「包括的契約」への移行準備が整った。これにより、次年度以降、フリーランス法の趣旨を更に徹底し、会員の法的保護と安心・安全に就業できる環境整備を目指し、強固な運営基盤を構築する。

今後ともセンターは、第四期中期計画に基づき、公益目的である「就業を通じた高齢者の社会参加」と「能力を活かした地域社会づくり」に邁進し、山積する諸課題に対して迅速かつ適切に対応していく所存である。

2 会員状況・公益目的事業実績等は後記のとおり。

3 諸会議の開催

(1) 定期総会	1回
(2) 臨時理事会	3回
(3) 理事会	12回
(4) 安全管理委員会	5回
(5) 入会説明会	24回
(6) 総務部会	7回
(7) 事業部会	5回
(8) 広報部会	16回
(9) 家事援助サービス連絡会議	6回

4 公益目的事業の実施状況

(1) 普及啓発事業の推進

- ア 広報誌として「シルバーすみだ」を年4回発行した。
- イ 区のお知らせ、区勢概要、私の便利帳等の区刊行物を積極的に活用し、事業の普及啓発に努めた。
- ウ 区内循環バスの車内広告及び放送を実施したほか、時刻表に広告を掲載し、事業の普及啓発に努めた。
- エ 10月を広報活動強調月間に設定し、次の事業を実施した。
 - (ア) 第50回すみだまつりに参加し、事業の普及啓発に努めた。
 - (イ) Tokyo シルバー50周年フェスに参加し、事業の普及啓発に努めた。
- オ リーフレットや啓発物資を作成し、配布した。
- カ インターネットのホームページにより、センターの紹介等を行った。
- キ すみだ生涯学習センターにおいて、老人クラブ連合会主催の作品展で会員の作品を展示し、センターのPRを行った。
- ク 高齢者活躍人材確保育成事業（国事業）を活用し、会員拡大チラシ約32,000部を、新聞折込により区内全域に配布した。
- ケ 非会員が参加可能な保育セミナーを開催し、入会の促進活動を行った。
- コ すみだ区報11月21日号の1面にセンターのPR記事を掲載し、墨田区の高齢者に対して入会の促進活動を行った。
- サ J・COMの取材に応じ、当センターの紹介番組がウィークリーすみだで放送された。
- シ 当センターに年間80万円以上の業務発注をしている75の企業・団体等を、高齢者雇用支援に積極的に取り組む「シルバーフレンドリー企業」として認定した。

(2) 就業開拓提供事業、調査研究事業

- ア 就業機会拡大のための技術講習の一環として、東京しごと財団で行われる研修に参加して、技能の向上を図った。
- イ 民間事業の受注拡大のため、積極的にPR活動を行った。
- ウ 家事援助サービス連絡会議において、家事援助事業の受注拡大のための事例検討等を実施した。
- エ ホームページに求人募集記事を掲載するとともに、当センター事務局に就業情報を掲示し、会員への求人情報の提供に努めた。
- オ 適切な就業の紹介のため、希望する仕事・時間等の会員情報の更新を実施した。
- カ 公益財団法人東京しごと財団の自主事業新設支援事業助成金を活用し、会員の創意工夫により展開する自主事業「おはなしサロン」を立ち上げ、センターのイメージアップに努めた。

(3) 会員・役員研修（研修・講習事業）

ア 第一地域シルバー共催

(ア) 正副会長会議（足立区）	1日	2人
(イ) 安全管理研究会（書面開催）	1日	1人
(ウ) 安全就業研修会（足立区・江東区）	2日	17人

イ 墨田区シルバー主催

(ア) パソコン講座・スマホ体験教室	80日	延500人
(イ) 接遇向上特別研修	2日	62人
(ウ) 業務研修会	2日	39人

ウ 東京しごと財団主催

(ア) 新任理事研修	1日	4人
------------	----	----

エ 業務別懇談会

押上駅前自転車駐車場業務会議	1日	10人
----------------	----	-----

オ 職員研修

東京しごと財団主催の合同研修への参加等により、職員の資質向上を図った。

カ 基礎講習会

就業にあたり必要な注意点や心構えを説明するため、新入会員を対象にした基礎講習会を開催し、207人の会員が受講した。

(4) 相談事業

ア 就業相談・発注者相談は、その都度事務所において実施した。

イ ハローワーク墨田において、入会や就業に関する相談等を行う出張相談を24回実施した。

(5) 安全就業推進事業

ア 安全管理委員・安全対策推進員・安全就業推進員合同による安全管理委員会を開催し、安全就業の強化・推進を図るため、安全対策実施計画を策定した。

イ 本所・向島警察署と墨田区の協力を受け、5月と9月に自転車安全運転講習会を実施した。

ウ 7月を安全就業強化月間に定め、安全就業に関するチラシと啓発物資を配布した。

その際、自転車修理を得意とするセンター会員3名により、自転車の安全点検を実施した。

エ 安全管理委員等による安全具の整備・点検及び実態把握のための、就業現場の安全パトロールを23ヶ所で行った。

オ 「シルバーすみだ」に事故防止及び健康管理について記事を掲載した。

カ 安全講習会への参加及び第一地域共同で安全管理研究会を開催し、事故原因の分析及

び再発防止対策等を検討した。

キ 熱中症対策として、会員による冷却グッズ等の調達を通じて物品を整備し、対策の推進を図った。

ク 配分金明細書に、安全に関する啓発記事を同封した。

ケ 自転車利用者のヘルメット購入に対し、助成した。

コ 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会が厚生労働省職業安定局から受託したシルバー会員就業支援事業の再委託を受け、就業支援機器の貸与等を行い、体力の衰え等に不安を抱く会員が安心して就業できる環境整備に努めた。

サ 自転車保険加入の確認を会員に対し実施した。

シ 会員に対し健康診断受診の有無を確認するとともに、未受診の会員に対しては受診を推奨した。

(6) 健康増進事業の推進

ア カラオケ教室	12回	延 171人
イ ウクレレ教室	24回	延 581人
ウ 健康体操教室	20回	延 527人
エ すみだ花体操教室	20回	延 419人

(7) 社会奉仕活動事業

ア 東京都ランナー応援イベント2026マラソン祭りにボランティアとして参加し、社会奉仕活動を実施した。

イ すみだボランティアまつりにボランティアとして参加し、折り紙教室を開催した。

(8) 労働者派遣事業

ア 事業拡大のため、労働者派遣事業に関するリーフレットを作成し、墨田区内の事業者に配布する等のPR活動を行った。

イ 派遣就業に従事する会員に対し、入職時研修等を随時実施した。

(9) 包括的契約への移行

フリーランス法施行に伴う個人事業主であるシルバー会員の安定的就業環境を整備する厚生労働省の方針に沿って、令和8年度から包括的契約に移行する手続きを行った。

5 公益法人の運営体制の充実を図るための取組

(1) コンプライアンス委員会の設置

令和8年3月26日、会長、副会長、常務理事兼事務局長、次長、主任、主事で構成されたコンプライアンス委員会を設置し、会議を開催した。

(2) 公益法人改革にかかる調査研究

令和8年2月10日、「新しい時代の公益法人制度」にかかる調査研究の一環として「改正公益法人法」について公認会計士を講師に勉強会を実施した。